

# ブルネルとナイチンゲールの誕生日にちなんで ①

## イザムバート・キングダム・ブルネル

筆者は毎年4月9日に、英国の偉大なエンジニアとして称賛されているイザムバート・キングダム・ブルネル(1806年4月9日ー1859年9月15日)の誕生日を祝う。ウクライナのニュースで、クリミア半島の地名を聞いた

話題はいまから10年前の2012年に遡る。その年の7月、蒸気機関・高炉・蒸気船を登場させて、産業革命の発展を演出&仕掛けた。第1部のエンディングは、高炉(溶鉱炉)から出てきた鉄の溶湯を鋳型に流し、五輪の輪をつくり、その丘の中腹に昇ると大勢のチースと子供たちがダン

1950年山形生まれ。東京都立大院卒。元千葉大学院工学研究科准教授(金属疲労専攻)。金属疲労の研究のほか、他分野のテーマの研究開発に努めるとともに日本各地の地域おこし活動に従事する。ローカル鉄道と地元の酒蔵のコラボで地域再生を図る地酒「鐵の道」の製造・販売を企画(すでに10件を超える銘柄を送り出している。一般社団法人洗楓座代表。一般財団法人「エコミュージアムいすみ」代表。

に、クリミア戦争の野戦病院で傷病兵を看護したフローレンス・ナイチンゲール(1820年5月12日ー1880年8月13日)のことを思い出す。ナイチンゲールとブルネルとの関連については、あまり知られていない。そこで4月9日生まれブルネルと5月12日生まれのナイチンゲールの二人の誕生日にちなんで、今回の地元力

である。第1部はエリザベス女王を素材にした演出で始まり、MC役のブルネルが馬車を模したと思われる多くのベッドから降り、その丘の中腹に昇ると大勢のチースと子供たちがダン

ブルネルは12年10月26日の夕方、この偉大な100人の人気投票では、得票の第1位は元首相のチャーチル、第2位が19世紀のエンジニアのブルネルであった。ブルネルは、蒸気鉄道・トンネル・橋・駅舎・蒸気船・大気圧鉄道など、交通インフラに関する先進的な発明や開発を行なった。『ダーウィンは私たちがどこから来たかを教

発見」としたい。ブルネルとの関連については、あまり知られていない。そこで4月9日生まれブルネルと5月12日生まれのナイチンゲールの二人の誕生日にちなんで、今回の地元力

ブルネルは12年10月26日の夕方、この偉大な100人の人気投票では、得票の第1位は元首相のチャーチル、第2位が19世紀のエンジニアのブルネルであった。ブルネルは、蒸気鉄道・トンネル・橋・駅舎・蒸気船・大気圧鉄道など、交通インフラに関する先進的な発明や開発を行なった。『ダーウィンは私たちがどこから来たかを教

ブルネルは12年10月26日の夕方、この偉大な100人の人気投票では、得票の第1位は元首相のチャーチル、第2位が19世紀のエンジニアのブルネルであった。ブルネルは、蒸気鉄道・トンネル・橋・駅舎・蒸気船・大気圧鉄道など、交通インフラに関する先進的な発明や開発を行なった。『ダーウィンは私たちがどこから来たかを教

### TOPICS

#### ロンドンオリンピック2012の開会式に登場したブルネルをご存知だろうか?



#### 日本機械学会誌での紹介(一部抜粋)

オリピック開会式全体の主題は、シェークスピアの『アンペスト(あらし)』を引用し、会場のロンドンオリピック・スタジアオには、グラストンベリー・トンの小高い丘を設え、開会式は4部構成

# 地元力発見!

佐藤建吉 「洗楓座」代表

た。開会式は4部構成 島は雑音(じょうばい)で、オリ

【註1】 <https://www.youtube.com/watch?v=4As0e4de-rl>  
 【註2】 <https://www.jsme.or.jp/tsd/news/newsletter29/no5.pdf>  
 【註3】 <https://pub.nikkan.co.jp/book/b10019754.html>